

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告

2025 年 12 月

◇◆タイ南部の大洪水、カンボジアとの国境紛争について◆◇

こんにちは。鳥取県東南アジアビューローの辻です。昨年 11 月から 12 月にかけて、タイ国内では南部の大洪水、カンボジアとの軍事衝突など、日本でも報道されるニュースが続きました。今回はタイ国内の情勢について、1 月 10 日現在の最新情報をお伝えします。

【南部大洪水について】

11 月 24 日、タイ南部を代表する都市ハートヤイ市（ソンクラーク県）を中心に「300 年に 1 度」の豪雨に見舞われ、複数の県に渡って洪水の被害が発生しました。11 月中旬からタイ南部を中心に続いた非常に強い北東モンスーンによる豪雨により複数の川が氾濫し、低地や都市部で浸水が拡大、ハートヤイ市など多くの地域では、排水が追いつかない状況となりました。洪水は南部の 9 県にわたって広がり、サトゥーン、ソンクラーク、ナコンシータマラート、パッタニー、ヤラーなどの各県で住宅や農地が浸水、約 300 万人（約 123 万世帯）が被災したと報じられました。タイ政府の発表では、洪水による死者数は少なくとも 267 人に上り、経済的損失は約 5000 億バーツにのぼると見込まれています。



立体交差上に避難した車が立ち並ぶ



孤立した住民の救助作業

画像引用：[THAIRATH](#)

・進む復旧作業

11 月末には各地で浸水が収まり始め、12 月に入ってからには救助・緊急対応のフェーズから本格的な復旧活動のフェーズへ移りました。軍やボランティア、海外からの援助隊などによって、道路や街中の泥・がれきの撤去、家屋・商店の清掃や損壊物の撤去がすすめられ、電気・水道などの生活インフラも復旧し、12 月 3 日には主要道路・空港・交通網が使えるようになりました。タイ政府は被災した世帯や企業に対して給付金の支給や最長 1 年間の債務（ローンの元本・利息）の支払いを停止する措置など支援策を打ち出しています。また、PTSD やうつ病の対策として保健省は精神健康危機対応チームを現地に派遣し、これまでに 7340 人の被災者のメンタルヘルス状態をチェックするなど、精神面のケアも行っています。

・地元産業への影響

タイ国政府観光は、ビーチリゾートとして有名なプーケット、クラビー、サムイ島を含む多数の人気観光地で、交通や観光スポットが通常営業に戻ったと発表しています。一方で、マレーシア人観光客に人気が高かったハートヤイでは、年末の観光予約がほぼキャンセルされるなど深刻な影響が出ています。また、タイ南部は世界トップクラスの生産量を誇る天然ゴムの主要生産地ですが、多くのゴム園が水没したとみられており、タイ天然ゴム公社の発

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告

2025 年 12 月

表では最大 9 万トン減少し、損失額は 45 億バーツ（1 億 4000 万ドル）に上ると試算されています。また、漁業資源や沿岸生態系への影響も報告されており、政府は環境への長期的な調査と保全策の実施を進めています。

【カンボジアとの国境紛争について】

2025 年、タイとカンボジアの国境地帯では、長年の領有権問題を背景として武力衝突が断続的に発生してきました。6 月ごろから国境周辺では小規模な交戦や砲撃が続き、地域の緊張が高まっていましたが、10 月 26 日、マレーシアのクアラルンプールで開催された ASEAN 首脳会議の場において、米国のドナルド・トランプ大統領の立ち会いのもと、両国首脳が和平協定に署名しました。この合意により、紛争はいったん収束に向かうと見られていました。

・破られた和平協定

しかし、12 月 7 日午後、タイ東部シーサケート県の国境付近で銃撃戦が発生し、翌 8 日には多連装ロケット砲による砲撃や戦闘機による空爆を含む大規模な戦闘へと発展しました。タイ陸軍司令部の発表によると、12 月 10 日午前の時点で、ウボンラチャタニ、シーサケート、スリン、ブリラムの東北部 4 県において、17 万人以上の住民が戦闘を避けるため避難を余儀なくされています。さらに、タイ国防省は 11 日、今回の軍事衝突によりタイ人兵士の死者が 9 人、負傷者が約 120 人に達したと公表しました。現地に住む民間人への影響も深刻で、住宅や公共インフラへの被害が拡大しています。

・経済や外交への影響

この国境紛争の再燃は外交・経済面にも波及しています。米政府は、両国が和平宣言の履行を改めて約束するまで、タイとの関税交渉を一時停止すると通告しました。これにより、タイの輸出産業への悪影響が懸念されており、経済界からは早期の事態収拾を求める声が上がっています。

・再度、停戦に向けて

12 月 24 日、タイ東部チャンタブリ県で両国政府代表団による総合国境委員会が開催され、最終日の 27 日に行われた国防相会談において、同日正午から発効する即時停戦が合意されました。タイのナタポン国防相とカンボジアのティア・セイハ国防相が署名した共同声明には、停戦から 72 時間後にタイ側がカンボジア人捕虜 18 人を解放すること、国境地帯での兵力増強や挑発行為の禁止、民間人や民間施設への武力不使用、虚偽情報やフェイクニュースの抑制、人道的地雷除去への協力、サイバー詐欺や人身売買対策での連携、さらに国境測量の再開などが盛り込まれました。

この共同声明に従い、タイ政府は 12 月 31 日午前 10 時にカンボジア軍兵士 18 人を解放しました。これを契機として両国間の緊張緩和が期待されていますが、1 月 6 日朝にカンボジア側から発射された迫撃砲弾がタイ領内に着弾し、その破片でタイ軍兵士 1 名が負傷する事態が発生、タイ軍がカンボジア軍に対して停戦違反の詳細に関する即時の説明を要求するなど、早くも緊張感が高まっています（カンボジア軍側は誤射と出張）。また、根本的な争点である国境線をめぐる両国の主張は依然として大きく隔たりがあり、情勢はなお流動的なままです。

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告

2025 年 12 月

武力衝突が発生している地域はバンコクから約 500 キロメートル離れているため、バンコク在住の邦人や一般の都市生活への直接的な影響は現時点ではほとんど見られません。ただし、国境周辺への渡航は引き続き注意が必要であり、情勢次第では経済や物流を通じた間接的影響がタイ全体に及ぶ可能性も否定できません。現地への渡航を予定されている方は、最新情報の収集に努めるようにしてください。

鳥取県東南アジアビューロー Tottori-Southeast Asia Trade and Tourism Bureau

担当：辻 三朗 Saburo Tsuji

Address: 1 VASU 1 Building, 12 FL., Room 1202/C, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd.,
Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Tel : +66-(0)-2-260-1057

Mobile : +66-(0)-86-358-7298

Mail : tottori@aapth.com

【鳥取県東南アジアビューローの運営法人（鳥取県より業務委託）】

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インド・メキシコにて主に日系中堅・中小企業様の海外進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

【免責事項】

■情報の掲載内容には万全を期しておりますが、その正確性、完全性、有用性、適用性についていかなる保証も行いません。また、その利用により生じた被害や損害に関して一切の責任を負いません。

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2025 年 12 月

ワンページタイ経済

| 項目 | 単位 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 |
|-----------------|-------------|----------|----------|----------|--------------------|
| GDP 成長率 | 前年比ベ (%) | 2.7 | 1.9 | 2.3 | 2.4 (9 月) |
| 人口* | 千人 | 69,922 | 70,104 | 70,245 | 70,383 (9 月) |
| 労働者の数* | 千人 | 40,143 | 40,674 | 40,765 | 40,154 (11 月) |
| 失業率** | % | 1.32 | 0.98 | 1.00 | 0.81 (11 月) |
| 最低賃金* バンコク | バーツ／日 | 353 | 353 | 363 | 400 |
| チョンブリー | | 354 | 354 | 361 | 400 |
| アユタヤー | | 343 | 343 | 350 | 357 |
| ラヨーン | | 354 | 354 | 361 | 400 |
| 賃金：全国製造業の平均 | バーツ | 14,305 | 14,416 | 14,394 | 14,394 (2024 年) |
| インフレ率** | 前年比ベ (%) | 6.08 | 1.23 | 0.06 | -0.28 (12 月) |
| 中央銀行政策金利* | % | 1.25 | 2.50 | 2.25 | 1.25 (12 月) |
| 普通貯金率** | % | 0.28 | 0.40 | 0.39 | 0.20 (12 月) |
| ローン金利 (MLR) ** | % | 5.50 | 6.83 | 7.14 | 7.01 (12 月) |
| SET 指数* | 1975 年：100 | 1,668.66 | 1,415.85 | 1,400.21 | 1,259.67 (12 月) |
| バーツ／100 円** | バーツ | 26.78 | 24.82 | 23.33 | 22.00 (12 月) |
| バーツ／米ドル** | バーツ | 35.06 | 34.80 | 35.29 | 32.88 (12 月) |
| 円／米ドル** | 円 | 131.38 | 144.07 | 153.72 | 155.88 (12 月) |
| 車販売台数（1 月からの累計） | 台数 | 856,057 | 702,921 | 559,255 | 543,677 (11 月) |
| B0I 認可プロジェクト | 件数 | 1,554 | 2,383 | 2,953 | 2,413 (9 月) |
| B0I 認可プロジェクト金額 | 10 億バーツ | 618.62 | 750.12 | 973.14 | 1,114.798 (9 月) |

*期末、**平均